

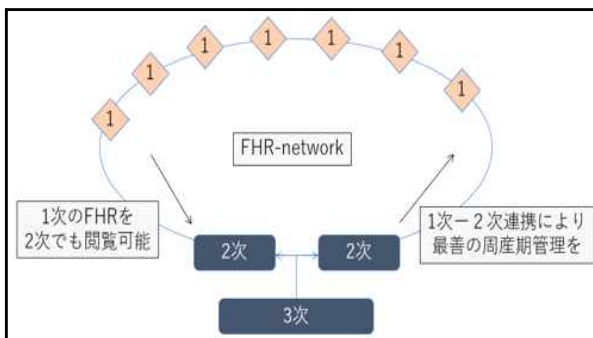
周産期医療ネットワークシステムの運営費支援について

1 システムの概要

- 周産期医療ネットワークシステムは、一次医療機関等における分娩時の胎児心拍数モニタリング（FHR）を二次・三次医療施設で共同監視するもの。
- 県内各地区への導入経過は次のとおり。

- 平成24・30年度…県西地区
- 平成28・29年度…県央地区、県北地区
- 平成30年度…県南地区

- 現在、県内の一次（37）、二次（6）三次（1）の医療機関等で稼働、運用されている。



三次	宮崎大学医学部附属病院	
二次	県央	県立宮崎病院 宮崎市郡医師会病院 古賀総合病院
	県南	県立日南病院
	県西	都城医療センター
	県北	県立延岡病院
	一次	37医療機関等

2 国庫補助事業の活用による運営費支援

- 令和2年度から国において国庫補助対象事業「ICTを活用した産科医師少数地域に対する妊産婦モニタリング支援事業」が創設。
- システムの構築費用とともに、システムの保守費用のほか、システムによる支援側医療機関（＝二次・三次医療機関）の人件費も補助対象（1/2補助、R2.4遡及適用）。
→県を通しての間接補助事業になるため、県において11月補正での予算要求を検討中。
- なお、国は来年度も継続事業として概算要求を行っている。

3 今後の想定スケジュール

- ～10月中旬（厚労省→県→宮崎大学医学部附属病院）
正式な補助金交付要綱、申請手続についての案内
- ～11月中（宮崎大学医学部附属病院→県→厚労省）
宮大病院において医療機関分をとりまとめ、補助金交付申請書を県に提出。

県において補助金交付申請書を厚労省に提出。

